

旅と絆

(株)センターツーリスト「旅行友の会」会報

第47号(夏号)

発行責任者 古久保 暢男

電話 06-6354-9131 (代)

FAX 06-6354-9134

E-mail c.t@f7.dion.ne.jp



津幡邦昭さんのアコーディオン演奏



総会風景



植田保二さんの「沖縄の今」講演



総会後の交流

新しい風が吹く友の会に

4月5日、今年の友の会総会には、午前中の落語会に105名、午後の総会には69名が参加。初参加の会員も多く、新鮮な意見交流がされました。

愛慕と親しみをもって

大貫康雄・百合子さん(埼玉県)

知らない大阪の地。左見右見(とみこうみ)しながら繁昌亭に。当地とは比にならない上方落語に堪能して、総会に初参加。単なる旅行会社ではなく、ネットワークで盛りあげ、多くの協力者がしつかり後ろに控えていることに大阪ならではと感じました。

会社の社会的なポリシー・思想性が多く共感者を産み出しているのではないかと、夫婦ともども強い感動を持った次第です。世の中が忙しくなり、生存競争が激しくなり、まさに憤飯ものの安倍政権ですが、常に一ひらの心の余裕を持って旅をしたいと思えます。またお誘いねがいます。愛慕と親しみをもって遠い地から…

旅の企画は会員の声で

武元勲さん(大津市)

総会に出席し、会社が提案する旅行企画は、友の会会員のアンケート等をもとに作られていることを知りました。

ました。今後この方法のメリットを生かして、いい旅を企画してほしいです。

会員参加型で年度事業計画が組まれ総会でまた会員の意見が聞かれ運営されていることに納得し



藤棚ツアー

雨でもいいね! 旅の パレット



企画やツアーの雰囲気は良かったですが、雨ということで折角の藤を十分楽しめなくて残念でした。でも、ピンクの藤を初めて見られてうれしかったです。現地の方もやさしく感謝です。

これで晴れだったら二重丸です。お世話して下さい。みなさま、ありがとうございます。



雨に濡れた藤

**解説プリントが
あればもっと…**

雨と藤も悪くないですね。

この旅のキーワードが「藤」ですので、「藤」に関連する諸々を参加限定の案内・解説プリントを作成していただければもっと良かったです。

ガイドさんのユーモアを交えた「藤色」「マメ科」「桐の花との違い」などは大変楽しく参考になりました。

幸福王国ブータンとネパールの旅

ブータン
& ネパール



タシチョゾン前で民族衣装を着て

——言感想から——

ネパール

- ✿ ナガルコットのホテルから見た日の出や朝焼け、山々の眺めは最高でした。
- ✿ ネパールの寺院と雑踏の様子や信心深い人々の姿に感動。

ブータン

- ✿ タクツァン寺院で馬に乗って展望台にまで上ったことや初めて馬に乗って見た景色の美しさに感動。

✿ 民家の訪問では、家族とも触れあえ、一般家庭の様子が見られてとてもよかった。裏庭でさわやかな風を受けながら民族舞踊を見学し、石風呂にまで入り、お母さんの食事をいただき、最高だった。

✿ 学校訪問もたいへんよかった。子ども達の笑顔が素敵だった。

✿ 子ども達に持参した紙風船が好評だった。折り紙を教えたが、しっかり折り鶴をマスターした子がいて嬉しかった。子どもの笑顔は世界共通だ。



ボダナート寺院

東北復興交流ツアー

次回ツアーは
9月1～3日

いま、何をすべきか

瀧すがこさん

震災から3年、自分の目で確かめたく参加しました。浜通り医療生協の方、伊藤理事長のお話、運動していく中でのすばらしいものが伝わってきました。本当にありがとうございます。

元医療生協職員としての自分が、今、何をしなければならぬかが、参加してはつきりしました。八重の桜の歴史も学び、野口英世もこの目で学ぶことができました。

自分の目で確かめることがこんなに身に付くものか、またまた身につまされる思いです。



現地説明を受ける参加者

明日はわが身

小関 知子さん

富岡町の時間が止まっている事。ずっと原発に反対してきているのに結局除染で出た廃棄物を田んぼに置かせている早川さん。そして伊東さんたちみな

さんの活動に頭が下がると共に私達が自分達の所でその事を伝えていこうと改めて思ったツアーでした。明日は我が身と言うことを皆に伝えます。

国や東電に怒り

藤井啓子さん

伊東・医療生協理事長さんのお話とてもよかったです。2日目に生協の方のご案内で原発の被災地に行き、身に詰まる現実を知らされました。

地元に戻りこれを伝えることはこの旅行に参加した者の役割だと思います。

三春の桜、会津鶴ヶ城の桜、磐梯山の姿を眺められる幸せを感じ

じるにつけ、故郷に帰ることもかなわない被災地の人々の事を思い国や東電に怒りがこみ上げる旅でした。

満足な旅でした

Hさん

渡辺先生のお話に満足。

小牧山城のボランティアアガイドも楽しく案内いただいたてこれも満足。

徳川美術館の展示物も圧巻でした。

初めての方が多くて、バスの中での交流が難しかったのが少し残念ですが、仲よく旅できて満足でした。

お城ツアー

犬山城・小牧山城・徳川美術館



犬山城碑の前で記念撮影

戦国武将の思いに...

Nさん

渡辺武先生のバス車中での学習に続いて登った国宝犬山城。

眼下に広がる街を眺めながら戦国武将たちの思いと重なりました。さわやかな

5月の風にふかれながら、泰平の世が続くことを願わずにいられますでした。昼食も豪華でとてもよかったです。第3回目の備中・松山城と但馬竹田城(一泊二日)が楽しみです。

「壺井繁治賞」受賞・熊井三郎さん



熊井三郎さん



「旅の絆」にも度々詩を書いていただいている詩人・熊井三郎(前田進)さんが、詩集「だれかいますか」で壺井繁治賞を受賞されました。

地元紙(奈良新聞・奈良民報)にも大きく報道されました。

熊井さんは友の会囲碁クラブの会員で、六段の腕前。

受賞おめでとうございます。

コーヒーズブレイン

「ち」の濁音は「ぢ」だから、地震の仮名は当然「ぢしん」のはず。しかし、「ぢしん」に該当する漢字はない。

「なんで?」と思いつながら「じしん」と入力すると案の定「地震」に変換。ということ

は、これまで頭の中では地震Ⅱ「ぢしん」と意識しながら、キーボ

を叩いていたことになる。

ネットでは「『ぢ』は清音として、中世紀末までは『じ』とは別々の音を表していたが、江戸時代に入り、両者の発音上の区別は失われた」とある。

たしかに、日本語の子音分類では「ち」は破擦音、「し」は、摩擦音に分類されることから、それぞれの濁音も違っていたであろうことは

容易に想像できる。

ところで、「ぢ」はすべて「じ」に取って代わられたのかというところでもなく、縮む(ちぢむ)、身近(みぢか)など、表音文字としては「じ」に譲ったものの、それなりの地歩を築いてきた。

かつてくすり屋の店先の「ぢ」の看板が、目に焼き付いて離れない私にとって、「痔」を「じ」で検索することに言い知れぬ抵抗感があるのだ!



写真部会

バラに魅せられて

5月19日、参加者7名。夏日の中で撮影しました。

バラをはじめ多くの花にめぐりあえ、時を忘れて撮影。

園内には水車があり、絶好の被写体。これを見逃さずカメラにおさめる玉井さん。

その写真に対する執念は、部員の良きお手本です。

次回の例会を乞うご期待?

猛暑に負けず

京都植物園で撮影会

囲碁部会



白浜のリゾートマン ション。温泉・自然・グ ルメと三拍子揃った環 境の下、七面の碁盤を 並べ、一泊二日の「碁 碁三昧」を楽しみまし た。

白浜公園は、桜と雪

柳が満開でした。

二日目の昼は、イタ リアレストランで本 場仕込みの Pasta を 賞味。至福の二日間 で

幹事・岡田進治

「碁」堪能

白浜リゾート地で